

かめやま 社協だより

「社協」は **社** 会福祉 **協** 議会の略称です。

発行 社会福祉法人
亀山市社会福祉協議会

〒519-0164 亀山市羽若町545番地 市総合保健福祉センター「あいあい」内
TEL 0595-82-7985 FAX 0595-83-1578
ホームページアドレス <http://kameyama-shakyo.or.jp>
メールアドレス aiai@kameyama-shakyo.or.jp

第37号

平成26年4月1日発行

だんの らしの あわせ
ふくし最前線!

今回の特集

指定障害福祉サービス
多機能型事業所

「つくしの家」「なかまの部屋」



**自分らしく
地域で生きる**

主な記事

- ふくし最前線！指定障害福祉サービス多機能型事業所「つくしの家」「なかまの部屋」特集 1・2ページ
- 社会福祉協議会活動紹介コーナー 3・4ページ
- Let's ボランティア！ 5ページ
- 平成26年度助成事業の募集 5ページ
- お知らせ 6ページ

「社協だより」は、市民の皆様からいただいている会費で発刊しています。





亀山市では、私たちの生活の身近なところで福祉に関わる方々がたくさん活躍されています。「社協だより」では、それらの団体や活動について紹介します。

ともにやりがいや 楽しさを感じられる場所に

指定障害福祉サービス多機能型事業所 つくしの家 林 理恵さん(職業指導員)

若山町にあるつくしの家と関町にあるなかまの部屋は、社会福祉協議会が運営している障がい者福祉サービスの事業所です。

つくしの家では就労継続支援B型事業と生活介護事業を、なかまの部屋では生活介護事業を実施しており、障がいを持つ人たちが自宅から通いながら、就労や余暇活動を通して、地域で生きていく力を育てる大切な居場所となっています。

Q つくしの家に勤めて何年になりますか？

A 平成17年4月から支援員をしていて、今年で9年目です。平成24年4月から就労継続支援B型事業所に配属されました。

Q 仕事内容は？

A わたしは職業指導員という職種なので、主に利用者の方が取り組む仕事をサポートしています。

作業が正確にできるように指導するのはもちろんですが、仕事をするには一緒に働く人達との関係が大事ですよね。だから、一緒に働く人と協力する、挨拶をする、お礼を言う、時間に遅れない、身だしなみを整えるなど社会性の支援も重視していて、食事に出かけたり、買い物に行ったり、地域の方との交流もしています。

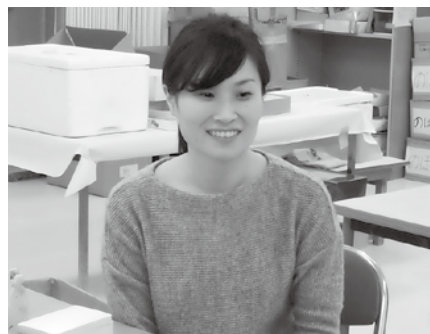
Q やりがいを感じる時は？

A 今までできなかったことができるようになった方が、取引先の方から「ありがとう」と声をかけられ嬉しそうにしているのを見て、やっていてよかったと感じました。

たとえ失敗しても、達成するまで頑張って、一緒に喜べた時は嬉しいですね。

Q 支援をする上で大切だと思うことは？

A 利用者の中には、やりたいこ



とや困ったことがあってもそれを上手く表現できない方がいますので、その方をよく知り、日常生活の些細な出来事や会話の中から、思いをくみ取って接することが大事だと感じます。

Q これから目指すものは？

A 利用者の方たちとともにいろいろな経験をして、やりがいや楽しさを感じられる場所にしたいです。

一人でできる仕事ではないので、支援員や関係機関、応援して下さる方たちとのつながりも大切にしていきたいと思っています。

就労継続支援B型事業 つくしの家

就労の機会を提供し、社会の一員としての自覚や意欲につなげる支援をします。豊かな生活のため各種行事を行っています。



下請作業の様子

生活介護事業 つくしの家／なかまの部屋

食事や排泄時などの介助や余暇活動、季節行事、軽作業などの機会を提供し、仲間との時間の共有とコミュニケーション作りを支援しています。



社会見学でラーメン作り体験



余暇活動でクッキー作り

社会福祉協議会活動紹介コーナー

地域福祉講演会 3/8

地域福祉計画の基本理念の「ともに支え合い、いきいきと暮らすまち亀山」の実現に向けて、地域の皆様と一緒に推進していくため、市と共催で開催し99名の方々に参加していただきました。

講演 中部学院大学の大井智香子准教授を講師に招き、「地域福祉活動－支え合いとつながりあいが未来を創る」をテーマに、「福祉の意味」や「地域社会が注目される背景や地域福祉の課題」、「地域の人材を活かしたこれからのまちづくりに何が必要なのか」などについてお話しいただきました。

講演では「後出しじゃんけん」で心と体をほぐし、「福祉とは、ひらたくいえば**ふ**だんの**く**らしの**し**あわせのことである。」との説明や、超過疎地域である岐阜県高山市での豪雪やお葬式での助け合い活動の事例などのご紹介をいただき、「待っていても実現できない。気づいた人から一歩踏み出して一緒に考えていくことが大切」とお話しいただきました。

実践発表 実践発表では、鈴鹿医療科学大学の蒔田勝義准教授によるコーディネートのもと、北東地区コミュニティより子育て・子育て支援を行っている「なかよしサロン」を中心に福祉部の活動を報告いただき、また、泉ヶ丘・富士ハイ地区コミュニティより男性だけで行っている「男のやさしい料理教室」を中心に活動報告していただきました。コメンテーターの大井先生からは、発表していただいた2地区のように、自分たちのできることを楽しく行い、長く続けていくことが大切だというコメントがありました。



参加者の声 会場からの質問も多数あり、「多くの人がこのようにしたらよいのに…と思っているがなかなか行動を起こせないがどうすればよいか」、「自分がよければいいという風潮はもう変えられないのでは？」などの質問に対して、「少しずつでも変わっていけると信じています。」「いろいろあるよねと分かり合えるチャンスだと捉えたらいかがでしょうか。」などのご回答をいただきました。参加者からは、「自分たちから気づいて動いてやっていくことが大切だとわかりました」「他地区の様子が良くわかり地元を持ち帰って活動にいかしたい。」など地域福祉への関心の高さが伺えるご意見をいただきました。

子育て応援！はじめての親子りょうり教室 3/9



子育てサロン「ママクッキング」との共催で、親子の料理教室を開催しました。

子育て中の14家族36名が参加し、グループに分かれて協力しながら料理を行いました。

ちぎって、混ぜて、丸めて、と、小さいお子さんでも楽しく料理することができ、また、親同士も子育ての話がはずんで楽しく交流ができました。

「ママクッキング」の活動について詳しく知りたい方は、社会福祉協議会（82-7985）に問い合わせさせていただくか、社協ホームページをご覧ください。

ボランティア入門教室 1/18・1/25・2/15・2/22

市内の4つのボランティア団体にご協力頂き、ボランティア入門教室を開催しました。1団体につき1回ずつ、団体と活動内容の発表や、体験指導を行って頂きました。

49名の方に参加頂き、参加した方からは「ボランティア活動について良く理解出来た。実際に活動を始めたい」という感想をいただきました。



災害ボランティア講演会 2/2



災害ボランティア講演会を開催し、48名の方に参加いただきました。今回はNPO法人日本災害救援ボランティアネットワークの寺本弘伸さんに「私にもできるかな？災害時のたすけあい活動」というテーマで、ご講演いただきました。災害時のボランティア活動とは年齢や性別、体力のあるなしにかかわらずにできる活動で、被災地に行くことだけが活動ではない(物資、募金、手紙、被災地の商品を購入など)、被災者に寄り添う気持ちが大切という話に、参加した方からは「わたしにもできることがあります。協力したい。」という声をいただきました。

災害ボランティア視察研修 3/5

京都市市民防災センターと京都市災害ボランティアセンターへの視察研修を実施し、計9名の方に参加いただきました。「地震体験や避難体験をしてみて、今までの災害に対する認識の甘さがわかりました。」「昨年の台風18号災害で迅速な対応ができたのも、災害ボランティアセンターが常設されており、サポーター同士、顔の見える関係にあったからだということがわかった。」などのご意見を参加した方からいただきました。



ボランティアセンターに登録しませんか？

ボランティアセンターとは

ボランティア活動に興味がある、ボランティアを依頼したい等、ボランティア活動に関する相談をお受けして、ボランティアのコーディネートを行います。

ボランティアセンター登録のメリット

市内で活動されているボランティア団体及び個人ボランティアは、ボランティアセンターに登録することができ、次のようなメリットがあります。

①福祉ボランティア活動団体助成事業の助成対象になります。

【助成内容】ボランティアセンターに登録している、またはこれから登録しようとしているボランティア団体を対象に、地域福祉の向上のために行う事業に対して助成します。

②ボランティア活動保険の助成(お一人あたり300円)を受けることができます。

③ボランティアルーム及びロッカーを利用することができます。

④ボランティアグループと活動の紹介をすることで、グループのPRに繋がります。

ボランティアセンター登録に関する詳細は、亀山市社会福祉協議会ホームページをご覧ください。



LET'S ボランティア!

～ボランティアセンターに登録している団体を順次紹介します～



亀山民話を語る会

亀山の民話はもちろん、全国に伝わる民話を福祉施設、公民館、学校等を訪問して語っています。

お客様の「今日はどんな話をしてくれるのか楽しみ」という言葉を聞くと、とても嬉しく、語りに熱が入ります。

民話は人の心を豊かにします。一緒に活動してくれる方を募集しています。私達とボランティアをしませんか。代表 渥美 八重子

バリアタウン推進の会

「車椅子レクダンス普及会亀山支部」と合同で、バリアフリーのまちづくり活動を進めています。

バリアフリー専門調査員を育成して、市内の施設やお店のバリアフリー度合いを調査しインターネットで公開しています。物理的なバリアだけでなく施設やお店の心遣いも含めて情報提供しております。

「亀山バリアフリーマップ」で検索し、ぜひご利用ください。

代表 渡邊 佐智男



平成26年度助成事業の募集を行います

募集期間 平成26年4月1日～平成26年4月30日まで

(受付時間は土日、祝日を除く8時30分から17時15分まで)

※各助成事業の申請書は、窓口またはホームページからダウンロードできます。

「ふれあい・いきいきサロン」

「子育てサロン」助成事業

「ふれあい・いきいきサロン」「子育てサロン」を行っている、またはこれから始めようとしている団体に対して助成を行います。

対象団体 以下のすべてにあてはまり、5人以上で組織する団体

①おおむね75歳以上の方、障がい者、子育て中の親子やボランティアなど自主的に活動している集まり(老人クラブ、子ども会などは別組織とします)

②月1回以上、おおむね1回2時間以上の開催

③原則として個人負担(食事代、材料代など)

助成金額 1団体につき年間2万円以内
(※初回申請の団体は年間3万円以内)

共同募金配分金助成事業

社会福祉の向上を目的とする事業並びに地域住民のニーズに基づく地域福祉事業等に要する経費で、公的補填のないものに対して行います。※ただし、次のものは除きます。

- ①役員会、総会、大会経費及び職員の人件費等、団体の運営に要する経費
- ②2県以上にまたがる地区を対象とした大会や会議に要する経費
- ③他団体から委託を受けた事業の経費補填
- ④その他、社会福祉を目的とする事業と認めがたい事業の経費

これらの助成事業は、市民の皆様からご協力いただきました赤い羽根共同募金を財源としています。

●ホームヘルパーとケアマネジャーの事務所が移転します。

平成26年7月1日から、訪問介護事業（ホームヘルパー）・居宅介護支援事業（ケアマネジャー）の事務所が、今までの総合保健福祉センター「あいあい」から亀山市社会福祉センター（亀山市若山町7-1）の2階に移転します。

●亀山市老人クラブ連合会設立50周年記念大会を開催します。

亀山市老人クラブ連合会が設立50周年を迎えるにあたり、三重県警音楽隊による演奏と記念講演を行います。一般の方のご参加も大歓迎です。ぜひ、ご来場ください。

【日時】平成26年5月9日（金）13:00～16:00（開場12:30）

【場所】亀山市文化会館 大ホール（亀山市東御幸町63）

【内容】○亀山警察署による防犯・交通講話 ○三重県警音楽隊による演奏

○記念講演

演題：「高齢社会と老人クラブ活動について」 講師：元日本福祉大学教授 中川 晴夫 様



●亀山市立関中学校において車いす贈呈式が行われました。

2月26日（水）、関中学校において、アルミ缶回収の収益金によって購入した車いす5台が校区内の社会福祉施設に1台ずつ贈呈されました。

生徒会より、「塵も積もれば山となる。自分たちがコツコツと取り組んできた結果が、こうして社会の役に立つことが嬉しい。」とあいさつをした後、贈呈を受けた施設から「今回の贈呈式をきっかけに、施設と学校、地域との交流をより深めていきたい。」と感謝と喜びの声をいただきました。



●東日本大震災義援金を引き続き募集します。

平成26年3月10日までに
寄せられた義援金

総額13,930,597円

お寄せいただいた義援金は日本赤十字社を通じて被災者の生活再建のために配分されます。

善意の寄付

（平成25年12月11日～平成26年3月10日まで）

三重県遊技業協同組合亀山支部様 古河電気工業労働組合三重支部様
亀山市シルバー人材センターボランティア「氣」様 ボーイスカウト亀山第4団様
亀山市職員組合現業評議会様 (株)三重平安閣亀山斎奉閣様 亀山高校三九会様
本田技研労働組合鈴鹿支部様 亀山自動車学校様

お寄せいただきましたご芳志は、社会福祉事業のため有効活用させていただきます。厚くお礼申し上げます。

亀山市の福祉指数（平成26年3月1日現在）

市総人口 50,083人	65歳以上の人口 12,032人（男性 5,315人 女性 6,717人）
世帯数 20,419世帯	18歳以下の人口 8,956人（男性 4,553人 女性 4,403人）
	高齢化率 24.0%

印刷
株式会社 一誠堂

リサイクル適性[®]
再生紙を使用しています。